



# Program プログラム

13:30-13:35 高濱史子（神戸大学学術推進研究員） - 挨拶 -

13:35-13:40 山崎寿一（神戸大学教授，建築学専攻長） - 挨拶 -

## 持続的住環境創成講座の展望

13:40-13:50 足立裕司（神戸大学教授） - 講座設立の挨拶 -

13:50-14:05 福岡孝則（神戸大学特命准教授） - 発表1：タイトル「ランドスケープからの発想」 -

14:05-14:20 城戸崎和佐（神戸大学客員教授） - 発表2：タイトル「インテリア・ニワ・ファブリック」 -

## 基調講演

14:30-15:00 團紀彦先生（建築家，神戸大学客員教授） - 基調講演1：タイトル「建築の私有と公共」 -

15:00-15:30 原広司先生（建築家，東京大学名誉教授） - 基調講演2：タイトル「住居への視線」 -

## 3.11 後の積水ハウスの活動

15:30-15:40 角本茂（積水ハウス（株）設計部長） - タイトル「3.11 後の積水ハウスの活動」 -

## 「定型と異型」パネルディスカッション

15:40-15:55 伊久哲夫（積水ハウス（株）取締役専務執行役員 技術本部長）  
- タイトル「定型と異型 ー積水ハウスの住まいづくり」 -

## パネルディスカッション

16:00-17:00 原広司×團紀彦×伊久哲夫×足立裕司×遠藤秀平×槻橋修（モデレーター）

17:00 閉会の言葉  
遠藤秀平（神戸大学教授）

# sustainable

# Living

7/7(土)

神戸大学

持続的住環境

創成講座(積水ハウス)

寄附講座記念

シンポジウム

13:30~17:00(開場13:00) 入場無料・予約制  
梅田スカイビル タワーウエスト36F スペース36L

基調講演

原 広 司

(建築家・東京大学名誉教授)

團 紀 彦

(建築家・神戸大学客員教授)

小嶋一浩

(建築家・横浜国立大学Y-GSA教授)

19世紀末から20世紀にかけて、住宅建築は建築家にとって最大の課題でした。建築家は旧来の居住環境を否定し、新たな居住環境について積極的に提案してきました。しかし、20世紀のモダニズムを先導する役割を果たし、建築家の新しいアイデアの実験の場となってきた住宅建築も、その後モダニズムが定着していくとともに徐々に主題から脇役の位置に後退していきました。モダニスト達が提案した新しい居住環境は、一般の住宅にも部分的に影響を及ぼしましたが、一般建築への影響に比べるとはるかに限定的であったといえるでしょう。代わって登場してきたハウジング会社は着実に時代のニーズを反映させ、定型ともいえるライフスタイルを定着させてきました。現代とさらに未来を見つめて、建築家は住宅建築に対してどのような立場で、どのような寄与が可能でしょうか。建築家達の提案は新たな居住環境の定型を求めていくための指針となるのか、それとも異型としての創造の立場を貫くのか、持続性、多様性といった現在求められている課題とどのように向き合っていくかといった課題について活発な議論が展開される場となることを期待しています。

- 13:30-13:40 ご挨拶
- 13:40-14:25 神戸大学寄附講座の展望  
(福岡孝則、キドサキナギサ)  
— 5分休憩 —
- 14:30-16:00 基調講演  
— 5分休憩 —
- 16:05-16:20 3.11後の積水ハウスの活動
- 16:20-17:00 パネルディスカッション  
(基調講演者+足立裕司、遠藤秀平、槻橋修)

## 定型と異型

—住宅から持続的住環境へ—

# environment

?



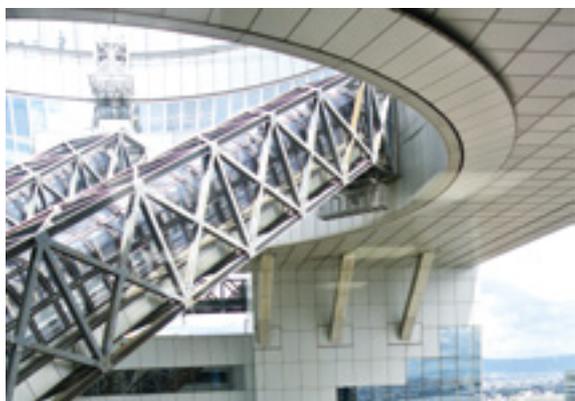
定員:150名  
予約方法:メールにて下記問合せ先にお名前とご参加人数をお知らせ下さい  
お問合せ先:jizokutekijukankyousei@gmail.com(高濱史子/学術推進研究員)  
主催:神戸大学大学院工学研究科建築学専攻  
共催:積水ハウス株式会社 後援:神戸大学



# Photo Album 会場風景



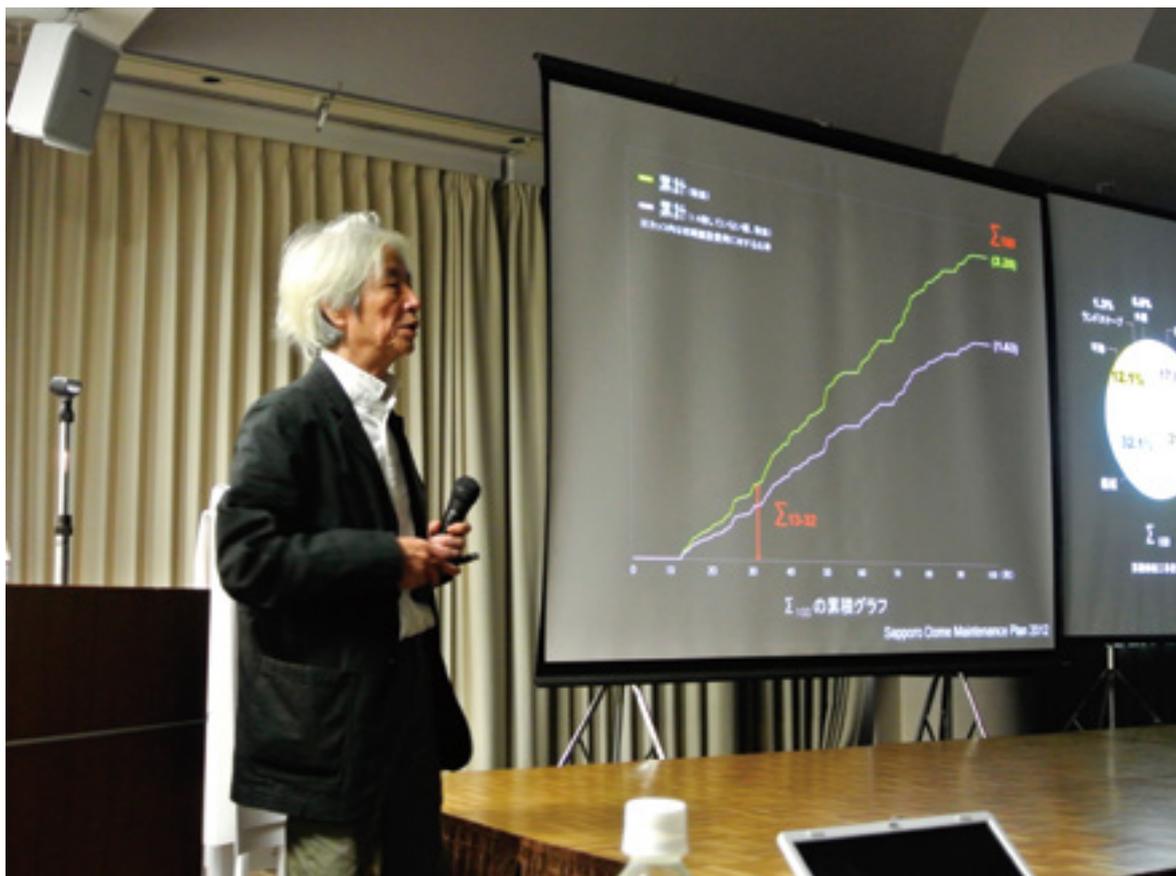
全体風景



梅田スカイビル



足立裕司教授 講座概要の説明



原広司先生 基調講演



パネルディスカッション



集合写真